

## 令和6年度第5回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和6年8月23日（金） 午後6時30分から午後9時00分まで  
会 場 伊豆市役所中伊豆支所 教育委員会室  
出席者 佐藤雅彦委員、勝呂留奈委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員  
鈴木洋一教育長  
委員及び傍聴人以外の出席者  
教育委員会教育部  
学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、  
社会教育課長 鈴木利明、学校教育課主幹 小澤真紀、  
学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 （鈴木教育長）

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

（1）前回教育委員会以降の主な行事等

8月1日 伊豆楽校（英語教室5, 6年）7/31～  
2日 臨時議会  
5日～6日 伊豆楽校（プログラミング）  
7日 伊豆楽校（ジオ教室）修善寺総合会館「ジオリア」  
8日 伊豆楽校（理科実験教室5, 6年）修善寺中  
9日 田方教育講演会、田方地区教育長会（中伊豆支所）  
13日 中学生議会（リハーサル）  
14日～15日 市内学校閉庁日  
15日 平和を考えるシンポジウム  
21日 中学生議会 9:30～ 足利市議会会派視察（土肥小中関係）  
23日 定例教育委員会（8月）

（2）今後の予定

8月27日 市内学校2学期始業式  
28日 市内校長会、教育委員会評価委員会

- 29日 9月議会（初日）  
9月1日 伊豆市総合防災訓練  
11日 静東教育事務所 所長来庁  
18日 伊豆中学校開校準備委員会  
20日 静東事務所指導訪問（修善寺中）  
25日 9月議会最終日  
26日 9月定例教育委員会、総合教育会議

◆ 9月議会関係

9/2～4日 一般質問、10日連合審査、12日教育厚生委員会

（3）市内小中学校の様子について

※8月は校長会が無いため、7月の定例生徒指導報告から抜粋して説明をした。

**生徒指導に関するこ**

**問題行動・いじめ**

- ・ 小学校で友達同士の喧嘩を止めようとした子が被害にあった事案があった。
- ・ 一人一台端末の充電を担当している生徒が、何人かの子供の充電ができないよう、わざとタブレットのコードを刺さなかった。
- ・ 授業で教員の指導に従わず離席をしたり、教室から出たり等の行為を繰り返した生徒がいた。保護者に事実を伝えた。
- ・ 女子生徒が化粧をして登校した。
- ・ 学校へなかなか足が向かない生徒から、電話で今から学校に向かうと連絡があった。その後登校しなかったため、教員が自宅へ生徒を迎えて行ったところ、暑さのため汗を大量にかいた状態で自宅にいるのを発見した。家庭児童相談所には通報済である。
- ・ 友達が、1人で居る生徒に優しく声をかけたところ、嫌だと拒否されてしまった。イライラした感情を友達にぶつけてしまう。

**伊豆楽校の様子**

- ・ 7月24日から2日間にかけて行われた3・4年の英語教室は、10人の参加に留まった。通常の授業で英語の学習が定着してきたことが考えられるが、来年度は内容を少し変更したほうがいいと考えている。
- ・ ジオ教室も人数が少し減ったものの、人数的にはちょうど良かったという報告があった。
- ・ 理科実験教室については、中学校の理科の先生が手伝いに来てくれて、子供たちに付き添って色々な実験ができた。
- ・ プログラミング教室は毎年人気があるため、定員を昨年の2倍に増やして実施した。教

室を終えてから内容については変更していく必要があると、委託した事業者側からの反省点としてあがった。

#### その他

- ・ 伊豆市のALTによるイングリッシュ・シミュレーションを、7月も実施した。
- ・ 教育センターの夏季研修会を実施。
- ・ 伊豆中学校の現場見学は8月17日に予定していたが9月以降に延期予定。60名ほどの希望者がいたため2部に分けて30人ずつ見学する予定。
- ・ 中学生議会が開かれた。
- ・ 2学期からALTが変わることになり、中学校での顔合わせを行った。
- ・ 修中夏祭りが実施された。

教育委員：小学校1年生の特に落ち着きがない子は、アンガーマネジメントをするのは難しいと思われる。

教育委員：学校と保護者との連携が必要な事案だと感じた。怒りを感じてそれを抑えることは、子どもたちにとっては難しいことであり、最近SNSで有名人が思った事をそのまま発言して問題になった。人に対して言ってはいけない言葉、やつてはいけない行為を考え、受けた側がどう感じるかを考えるのもアンガーマネジメントの一つだと感じた。化粧をしてきたことに対しては、そうしたい気持ちはわかる気がする。都会の中学生は化粧をしていると聞いたことがある。決められているものは駄目とはわかるが、その場に応じた決まりが必要だと感じた。

教育委員：問題行動の多い小学校1年生の担任の先生については、周りのサポートも受けながら頑張っていってほしい。教員や支援員の数がもう少し多いといいのかもしれない。

統括監：人員の確保は課題である。

教育委員：子供が少ないからといって先生の数も減らされてしまうと厳しいものがある。問題行動等の案件がたくさんある中でよく頑張ってもらっている。

## 4 議事

議案第26号 伊豆市立学校小規模特認校実施要綱の制定について  
<学校教育課長より>

以前より教育長から話があった、小規模特認校の制定について、土肥小中一貫校を小規模特認校に制定しようとするものである。この要綱をはじめ、いくつかの規則改正を行うことで、市内全域から土肥小中一貫校に通えるようにしていきたいと考えており、今回は作成した実施要綱案の内容説明をした後、委員の皆様より要綱に対する意見を伺いたい。

本日この要綱案を踏まえていただいた意見を、要綱を整理する段階で反映し、確定していきたい。

また、要綱を定めることによって、通学区域の一部改正も視野に入れている。

要綱の整理後については、次回定例教育委員会の承認では9月の保護者への周知に間に合わないため、臨時教育委員会を開催して承認を得たいと考えている。

教育長：近隣では函南町の丹那小学校、三島市の坂小学校が小規模特認校として、同様の要綱を作つて市内全域から通えるようになっているが、通学にかかる費用は保護者が負担することになっている。また丹那小は現在4人ほど学区外から保護者の送迎で通っている子がいると聞いている。もし伊豆市で他地区から土肥小中へ通うとなると、通学費を全て保護者が負担するのはかなりハードルが高い。特認校を希望したお子さんが通学補助も受けられるよう、現在規則の確認をしているところである。

教育委員：そもそも小規模特認校は国の制度なのか。

教育長：国による学校選択の弾力化の中で、事情のある方については指定校変更や区域外就学等で区域を弾力化することができる。部活動の指定校変更もその一つ。

教育委員：適応できない子が来ると想定されるのか。小規模特認校のメリットが他地区的保護者にはわかりづらいのではないか。土肥地区の子どもたちはそこが指定校だから土肥小中へ通っているが、伊豆中学校が開校して、そこでうまくないじめないから行く学校ということか。

教育長：なじめないから行くのではなく、市内唯一の義務教育学校であり、手厚い指導や関わりが可能な学校として募集をしたい。

教育委員：土肥小中一貫校の良さを前面に出してほしい。良さを示さないと子どもたちは来ないと思う。

教育委員長：募集要項には9年間通して一貫した教育ができることや、少人数で目の届く教育を受けられ、海にちなんだ行事もできるといった形で募集をかける。

教育委員：土肥小中でしかできない経験を在校している子どもたちは経験してきているので、土肥に住んでいる者としてはそこを全面的にアピールしてほしいと感じた。

教育長：大人数で生活するのは苦手なお子さんが、のびのびと生活できるような選択肢としても提供できる面もある。

教育委員：通学時の安全確保は一番難しいところでもある。市でも移住者へ空き家を紹介する等の働きかけをしているが、土肥での暮らしを実際に体験してみて、土肥小中へ通うかどうか決めてもらったり、住宅の補助をしたりすれば土肥へ住む人が増えるきっかけになるのではないか。冬の通学は降雪も心配される。

教育長：朝8時過ぎに土肥へ着くバスがあるため、保護者が毎日送らなくても自力で通

うことは可能である。

教育委員：メリットもたくさんあることを伝えてほしい。「小規模特認校」という制度の名称が伊豆中学校の分校のような位置づけに感じてしまい、土肥に住む者としては疑問を感じる。伊豆市立土肥小中一貫校の良さを熱くアピールしていきたいところだ。

学校教育課長：あくまでも制度上そう呼んでいる。「小規模特認校」と出してしまうと、逆に他の小規模な学校へ行くという選択もできてしまうが、今回の土肥小中については、「小規模特認校」の名前を前面に出すのではなく、先ほど教育長が言ったように、県内初の義務教育学校で1年生から9年生まで一貫して学べる特色を前面に出した形の募集を考えている。

教育委員：土肥小中でも学んでも学力が遅れることもなく、楽しく生活できることを募集要項に前面的に出してほしい。

教育委員：この制度によって他市町から土肥小中へ来ることはあるのか。

統括監：そうなると区域外就学という形になる。

教育委員：協議すれば可能なのか。

統括監：現時点ではできない。

学校教育課長：伊豆市に住所がないとこの制度は適用されない。

教育長：第4条(3)で「児童生徒は、通常学級のカリキュラムのもとで学ぶこと」とあるように、通常学級の児童生徒が対象であり、特別支援を希望する児童生徒は対象にはならない。

教育委員：自然に触れることができたり、人数が少なくて手厚い支援を受けられたりと、特別支援学級の子どもたちの希望が多いのではないかと思った。

## 5 報告・連絡事項

### 学校教育課 連絡事項

- ・学校教育課長より、説明する。
  - ・新中学校変更契約（第3回）について
  - ・中伊豆小学校移転に関する説明会の実施について
  - ・新中学校開校に関する保護者説明会の実施について
  - ・修善寺4小学校の在り方に関するアンケートについて

### 社会教育課 9月の行事予定

- ・社会教育課長より、9月の行事予定について説明する。

7 その他

令和5年度伊豆市教育委員会自己点検・評価について

- ・学校教育課長より、伊豆市教育委員会の自己点検・評価報告書の内容及び教育委員会評価委員会の評価項目等について説明する。

8 次回教育委員会

令和6年9月26日（木） 14時～

次々回教育委員会

令和6年10月29日（火） 18時30分～

9 閉会（教育長）